

赤十字 NOW

千葉 | June 2012 Vol. 22

発行所 / 日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812



震災になんか負けないぞ! ふるさと福島への想いを 白球に込めて

左 植田雅也くん(8才)
 右 鈴木日南人くん(12才)

赤十字運動月間の真っ最中の5月12日(土)、QVCマリンフィールド(千葉市美浜区)を会場に、千葉ロッテマリーンズの全面協力で、赤十字応援デーキャンペーンが行われました。

当日は、昨年度のバシフィックリーグ王者 福岡ソフトバンクホークスとの白熱したホームゲーム。試合前のフィールド周辺では、選手会主催チャリティーオークション、献血や救急法体験コーナー、子ども救護服試着体験コーナーなど、赤十字を身近に感じていただくブースが大盛況でした。

試合直前の始球式には、当支部と球団が招待した2人の少年が登板。

原子力発電所事故に伴い、故郷の福島県から千葉県に避難しながらも、新たな生活を始めた植田雅也くん、鈴木日南人(ひなど)くんは、観客約19,000人の応援を背に力投。

「震災になんか負けないぞ!」と気合いの入った白球は、今江選手と根元選手がしっかりと受け止めました。(2面に詳細記事)



©CHIBA LOTTE MARINES

うわー 大松選手だー



美しいフォームの鈴木くん



CONTENTS June.2012 vol.22

2 千葉ロッテマリーンズ × 赤十字応援デー 開催

3 釜石発 教育レポート
 大津波を自ら生き抜いた
 184人の児童たち

4 いいよ今夏公開! 映画
 『BRAVE HEARTS 海猿』
 へ撮影協力

5 イベントプラン
 ・WANTED! 赤十字ジュニア・ライフ
 セービング教室参加者募集
 ・キッズ献血セミナー2012
 「なるほど!献血ゼミナール」参加者募集

6 NEWS
 ・日本赤十字社千葉県支部
 創立120周年シンボルマーク
 お知らせ
 ・好評発売中の赤十字グッズ

Marines



日本赤十字社 千葉県支部
Japanese Red Cross Society

～千葉ロッテマリーンズ×赤十字応援デーを開催しました～

5月12日(土)、日本赤十字社千葉県支部は、千葉ロッテマリーンズの全面的なご協力により、対福岡ソフトバンクホークス戦が行われた、QVCマリンフィールドにて、赤十字活動を紹介するキャンペーン「赤十字応援デー」を開催しました。

試合前に行われた「特設ステージ」では、bayfm78の人気DJ きゃんひとみさん・KOUSAKUさんの司会により、選手会主催の「赤十字チャリティーオークション」が行われました。

井口選手、サブロー選手、唐川選手など主力選手の愛用した野球用具は、白熱した争奪戦が繰り広げられ、売上金 437,000円全額は赤十字活動資金としてご寄付いただきました。

救護服試着体験コーナーは大人気で、救急車や特殊救護車両の前で、それぞれのポーズで記念写真撮影を行うなど、イベントを盛り上げました。

試合開始を飾るセレモニーには、東日本大震災支援活動への

当社感謝状の伝達、球団両監督への花束贈呈に続き、ファーストピッチ(始球式)が用意され、福島県から千葉県に避難している2人の少年が登場。

君津市在住の鈴木日南人(ひなと)くん、成田市在住の植田雅也くんが、それぞれ今江選手と根元選手が構えるミットに力投しました。2人は地元の小学校と中学校に元気に通うなど、千葉県で新たな生活に取り組み始めました。

「震災になんかに負けないぞ」と気合いの入った投球で始まった試合中には、巨大赤十字リボンビジョンがフィールド内を走りました。

当日時点で単独1位のマリーンズと、昨年度リーグ覇者ホークスとの熱戦は、約19,000人の歓喜を誘う中、延長の末マリーンズの勝利で幕を閉じ、キャンペーンは終了しました。



白熱のチャリティーオークション



私たちも救護員だよ 記念にパチリ



花束贈呈 青年赤十字奉仕団員が参加



試合前の献血



さあマウンドへ一緒に 緊張の一瞬



長蛇の列ができた記念撮影コーナー



新たな生活を始めた皆さん



憧れの選手愛用品を手に満面の笑み

生きる力を育んだ釜石小学校教育の軌跡

2011年3月11日、岩手県釜石市立釜石小学校では、巨大地震発生時、10人を残し174人の児童達は下校していました。沿岸部で友達と遊ぶ子、堤防で釣りを楽しむ子など、それぞれの放課後を楽しんでいました。

自然の猛威は巨大津波を呼び、同市沿岸部は死者行方不明者合わせて1,000人を超え、4,600を超える家屋が被災する壊滅的な被害を受けました。

生存の望みも絶たれる状況の中、同小学校全児童184人は大津波を生き抜いていました。この紙面では、「釜石の奇跡」とも言われる児童達の行動を支えた、釜石小学校の教育の軌跡に焦点をあて紹介します。



県内の青少年赤十字担当教諭の皆さん

取材に応じる加藤学校長



4月20日(金)、5月16日(水)の2日間、日本赤十字社千葉県支部と千葉県青少年赤十字指導者協議会は、千葉県赤十字会館を会場に、県内の青少年赤十字採用の学校長・教諭合わせて約200人を対象とした防災教育研修会を行いました。

講師には震災発生当時学校長であった加藤孔子(こうこ)学校長(現滝沢東小学校学校長)、及川美香子教諭(釜石小学校教務主任)を迎え、それぞれの立場で児童達の教育に取り組んだ実践を講演いただきました。



児童と取り組んだ訓練の様子を語る

及川教務主任

高台にある小学校は避難所となり、情報がないうちで被災された方々の受け入れやお世話に忙殺される中、子ども達の安否が何より気掛かりでした。

「堤防にいた子どもが流されたようだ」希望が打ち消される情報に触れるにつれ、胸が締めつけられる思いで2日間を、行く手を塞ぐ漂流物乗り越え、手分けして子供達の安否確認に歩き回りました。

3月13日(日)、午後3時2分、184人全員の無事が確認された瞬間、学校内では拍手と歓声に包まれ、抱き合って泣く人達で溢れました。

児童の安否調査中の教諭

「僕に構わないで逃げて!」の声を遮り、義足の友達を背負い必死に逃げた児童。
50cmの津波に慌てて玄関から逃げようとした弟を制止し、屋上に押し上げた兄。
地震に驚き腰を抜かした高齢者を、励まし支えて一緒に逃げた女子児童達。
海底が見える異変に気づき、友達と話し合い、最良と思われる高台に逃げた児童達。
「死ぬぞ、一緒に逃げるんだ」
パニックで「家に帰る」と泣きじゃくる友達を強引に連れ出した児童。
目前に迫る津波の前に、それぞれが極限での判断をしていました。



津波は学校のすぐ前まで襲来

この判断力を培ったものは…。



津波防災安全マップ作りに取り組む児童

津波や津波から身を守るしくみを理解し、命を守ることが出来る児童を育成したいと、釜石小学校では、5年前から津波防災教育に取り組んできました。

防災専門家と教育委員会が作成した「津波防災教育のための手引き」による授業ばかりではなく、「ぼくわたしの津波防災安全マップ作り」など、独自で工夫を凝らした教育活動の複合的な効果が奏効したそうです。

低学年児童のマップ作りは、親子で地域を実際に歩き危険箇所や、避難に適する場所を行政が作成した防災地図に書き入れます。高学年も同様に、4年生から6年生までの縦割りグループで取り組むことで、児童達の頭の中には避難すべき地図が描かれることになります。上級生との信頼関係を築き、一緒に逃げる態勢作りにも役立つそうです。



津波防災授業の様子

併せて、行政や救護機関と連携し、本物の緊急地震速報音や、警報音を使った地域住民参加型の訓練に参加すること、下校時の津波避難訓練の実施、視聴覚教材を活用し津波の脅威を知る授業など、児童達の頭脳と身体をフル稼働した教育を行いました。

「大切なことは、子ども達が実際に目で見て体験し、その活動は繰り返し行うことです。子ども達は知識と体験の引き出しをたくさん持ち、適切な時に開けることができる」

講師のお二人は語ります。

「釜石の奇跡ではないよ。僕たちは先生に教わったとおりに避難しただけだよ」
「一人で心細かったけど、お母さんが必ず迎えに来るから。先生の言葉を信じていたよ」
小学1年生の男子児童は避難所にて、2日間一人で待っていました。
児童達の声は、同小学校が取り組んできた教育の軌跡であったことを物語っています。

講演を終えて

防災教育だけでは不十分と考え、普段から「いのち」の教育に取り組んできました。

自然の脅威を前にして人は無力と言われたが、子ども達の行動はそれを上回った。

津波に立ち向かった勇気を讃えるとともに、復興にも積極的に取り組んでくれると信じています。 加藤孔子学校長

いよいよ今夏公開! BRAVE HEARTS

ブレイブハーツ

海猿

UMIZARU

本物の 千葉県支部救護員が エキストラ出演!



映画撮影協力
フォトストーリー

~人気映画『BRAVE HEARTS 海猿』を
ステップとした赤十字の広報活動~



救護所の設営作業も撮影

本番の前に緊張感が高まります

いざ本番!

平成23年10月28日から30日までの3日間、当支部では、本社及び成田赤十字病院並びに千葉県赤十字血液センターとともに、千葉中央ふ頭を会場に映画『BRAVE HEARTS 海猿』の撮影に全面的に協力しました。

海上保安官の活躍と成長を描く映画『海猿』シリーズは、平成17年より計3作品が全国で公開され、実写版日本映画第1位(平成22年)の興行成績を収めるなど、長期に渡り圧倒的な人気を誇る作品の一つです。

乗客乗員346人のジャンボ旅客機が羽田沖上空でエンジン炎上。

機長の判断で前代未聞の東京湾着水を試みる中、多数の負傷者を海上保安庁をはじめとする救護機関が空前の救助活動を行うというストーリー。



撮影は無事に終了 羽住監督と一緒に「お疲れさまでした!」

海上保安庁の巡視船によって救助された負傷者が搬送されるクライマックスの場面には、日本赤十字社が応急救護所を設置。救護班によるトリアージ(患者識別)をはじめ、応急救護にあたりました。

制作会社の強い要請で、3個班の班長(成田赤十字病院医師)は撮影協力の傍ら、災害時の医療救護の技術監修、トリアージタグ(患者識別票)の貸与を行うなど、東日本大震災での組織を挙げた被災者救護活動が注目を集めています。

救護員をはじめ日赤職員は、大がかりな映画撮影現場の雰囲気にも緊張しながらも、「本番!」の声に、救護用資機材を抱えながら思わず息をのむ、迫真の演技を見せます。

献血運搬車、dERU(車載型応急救護所)、救急車などの特殊救護車両をはじめ、50人を超える赤十字職員が待機する撮影現場は、医療救護現場の様相を呈していました。

7月13日全国一斉ロードショーで公開予定の『BRAVE HEARTS 海猿』

地元千葉海上保安部と業務協定を締結している当支部では、この人気映画をステップとして、更に赤十字活動を知っていただく広報活動に取り組んでまいります。



夕暮れの中、撮影は続きます

俳優陣との共演



WANTED キッズライフセイバー募集告知!

梅雨が明けたら みんなで海へ繰り出そう!!

～赤十字ジュニア・ライフセービング教室の参加者募集～

日本赤十字社千葉県支部では7月22日(日)、千葉市稲毛海浜公園「いなげの浜」を会場に、赤十字ジュニア・ライフセービング教室を開催します。

水の事故から生命を守るための知識や技術、赤十字の応急手当の技術を習得してみませんか。ベットボトルなど、身近な物を救命道具にする方法、万が一水に落ちた場合に服を着たまま浮いて救助を待つ方法など、夏のレジャーシーズンを迎えて、「万が一」に備えたプログラムが盛りだくさんです。水難救助の専門家が使うレスキューボード体験も用意しています。夏休みの一日、親子で救命体験してみませんか。

楽しいよ
レスキュー
ボード

ベットボトルを
抱えてそっと・・・
浮きました

息もピッタリ
父子チーム

有意義な夏の思い出 全員でパチリ

- 日 時 平成24年7月22日(日)9:30～15:00(予定)
- 会 場 千葉市稲毛海浜公園「いなげの浜」
- 募集人数 30組(60名)
- 参加費 1名につき100円(傷害保険料)
- プログラム
 - 身近な物を救命道具にするテクニック
(ベットボトルなどを利用した簡単な救助法を体験)
 - 助かる技術
洋服を着たまま浮いている方法(着衣泳)
 - 応急手当(赤十字救急法)の実技体験など
 - スイカ割りゲームほか
- 申し込み方法 電話での申し込み(先着順)
- 申 込 先 日本赤十字社千葉県支部 事業部
組織普及課 奉仕係 Tel 043-241-7531(代表)
※平日の9:00～17:30

夏休みに「献血の研究」をしてみませんか?

キッズ 献血セミナー 2012

なるほど! 献血ゼミナール

千葉県赤十字血液センターでは、毎年夏休みに、親子参加型の献血セミナーを企画しています。今回は、「献血のしくみ」をテーマに、東京都赤十字血液センターへの見学会を行い、「献血された血液」が「患者さんにお届け出来るようになる」までを、スライド上映やクイズ・施設見学(検査部門・製造部門)を通して学習します。

- 主 催 千葉県赤十字血液センター
- 後 援 千葉県教育委員会(予定)
- 開催日時 平成24年8月2日(木) 11:00～17:00(移動・休憩時間含む)
- 集合場所 千葉県赤十字会館
千葉市中央区千葉港5-7(JR京葉線千葉みなと駅徒歩10分)
(千葉都市モノレール千葉市役所駅より徒歩5分)
- 会 場 東京都赤十字血液センター
東京都江東区辰巳2-1-67
- 参加資格 千葉県在住の小学生の児童及び保護者
※申し込みは、保護者同伴とさせていただきます。
- 募集人数 25組(50名程度)応募者多数の場合は抽選
- 参加費 無 料
- 持 参 品 筆記具・飲料・昼食(各自用意をお願いします。)、上着(冷蔵庫等に
入る場合があります。)、カメラ(記念写真用)
- 申込み切 平成24年7月2日(月)当日消印有効
- 申込方法 ハガキに必要事項をご記入のうえお申し込み下さい。
①郵便番号・ご住所②保護者氏名・性別・生年月日③児童生徒氏名・性別
生年月日(傷害保険加入に必要となります。)*④ご連絡電話番号(自宅
携帯)
- 宛 先 〒274-0053 千葉県船橋市豊富町690
千葉県赤十字血液センター内「キッズ献血セミナー2012」係
- お問合せ先 キッズ献血セミナー係 Tel 047-457-9926
(血液センター企画課直通)
(平日9:00～17:00・土日・祝祭日を除く)
- 参加ご案内 ご参加が決まりましたら、7月13日までに案内書をご自宅に送付いた
します。



▲楽しい夏の思い出



▲検査・製造部門
の見学の様子
献血血液の
ゆくえは?



▲献血クイズ たくさんの手が挙がりました



▲献血バスの中身はどうなっているのかな?

～シンボルマークに込めた想い～

日本赤十字社千葉県支部 創立120周年シンボルマークが完成しました



いまでも、これからも。

おかげさまで120周年
日本赤十字社 千葉県支部

日本赤十字社千葉県支部は、今年11月16日、創立120周年を迎えます。120年にわたるご支援への感謝の気持ちを、千葉県のシンボル「菜の花」と幸福の象徴「四つ葉のクローバー」のハートのオブジェで表現しました。

2つのモチーフの重なりは、「いまでも」、「これからも」の結びつきを表し、このシンボルマークの制定と普及により、日本赤十字社千葉県支部の更なる躍進への誓いいたします。

おかげさまで120周年。これからもどうぞよろしくお願いたします。



▲封筒や名刺で使用しています



▲キャンペーンで使用(QVCマリンフィールド)

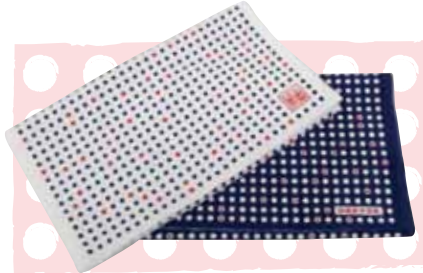
好評発売中の赤十字グッズ!

お知らせ

節電の夏、装いもさわやかに過ごしてみませんか。

赤十字オリジナル 日本手拭い

日本手拭いは、江戸時代に歌舞伎役者が家紋や独自の紋様を入れたことで庶民の憧れの的となり、その時代の流行や文化を表すファッション性の高いものとして生活に溶け込んできました。現在では日本手拭いをハンカチにするなど、普段使いや季節折のご贈答、海外へのお土産としてお使いになるお客様に大変喜ばれる商品です。



- 素材は日本手拭いや浴衣で使われ細かい線を出す特徴を持つ徳岡生地を使用
- 日本手拭いの端が縫われていないのは、清潔に保つ為水切れをよくし早く乾くようにと云う古来から引き継がれる工夫を忠実に再現

特別価格 500円(消費税込送料別)

素材：徳岡 綿100%
サイズ：約350×860
製造：日本製
梱包：個別PP(ビニール)包装

耳より最新情報 くろくまキューピー



大人気の赤十字限定キューピーストラップに新しく「くろくまキューピー」が仲間入り♪

価格 800円(消費税込送料別)

ご購入を希望される方は、直接(株)日赤サービスまでお申込みください。
(ご照会・ご注文は) (株)日赤サービス Tel:03-3437-7514 (商品担当)
<http://www.nisseki-service.com/>
または

